



CONTENTS

- 2 病院長挨拶・医局からのご案内
- 3 地域連携室からのお知らせ
- 4 医療療養病棟のご紹介
- 5 リハビリテーション科のご案内
- 6 栄養科のご案内
- 7 医療法人悠紀会からのお知らせ

基本理念 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

- 基本方針**
- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
 - 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
 - 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
 - 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
 - 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

「巻頭言」

悠紀会病院 院長 古森 顕一

梅雨から酷暑へと体調管理が重要な季節となっています。

年明けから日本中に広がった新型コロナウイルス感染症も半年を経ました。外国ではいまだに感染が拡大している地域も多く、日本では非常事態宣言は解除されたとはいえ、まだまだ感染予防対策の継続は必要です。玉名地域における新たな感染発生は見られてはいませんが、経済と人の移動が戻る中、感染のリスクは再び高まる可能性もあります。当院においても徹底した感染予防対策を講じており、更に入院患者様への面会制限も行っていました。しかし患者様の治療においては身体のケアに加え、ご家族からの心のケアも重要な要素であり、段階的に面会制限の緩和を進めているところです。今後も社会活動の再開と共に行動範囲の拡大が増えてくると思いますが、ワクチンや治療薬が開発されるまでは3密（密集、密閉、密接）をできる限り避け、適切なマスク着用と習慣的な手洗いを続けていただきたいと思います。

さて当院におきましては、入院および外来のリハビリテーション治療は診療の大きな柱となっております。このたび7月1日付で当院リハビリテーション科に山崎裕子医師が着任いたしました。日本リハビリテーション医学会臨床認定医、専門医、指導医であり今後のリハビリテーション治療の更なる質の向上に期待しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■ 着任のご挨拶

山崎 裕子 (Yuko Yamasaki) 令和2年7月より勤務 (月・火・水・金)



この度、当院に勤務することになりました山崎 裕子です。

RA 内科、透析医を経て ADL や QOL 拡大のためにリハビリテーション科の門を叩き今に至ります。摂食嚥下の評価、治療、装具選択などを中心に幅広くリハビリテーションに携わりたいと思います。宜しくお願い致します。

資格：日本リハビリテーション医学会臨床認定医、専門医、指導医
日本摂食嚥下リハビリテーション医学会認定士
日本 RA 学会登録医 身障者福祉法 15 条 1 項指定医 (嚥下、身体)
難病指定医 リウマチ財団登録医 義肢装具など適合判定医
高次脳機能障害ファシリテーター 等

■ 勤務のご紹介

伊勢 紘平 (Kohei Ise)

令和2年3月より

※毎週火曜において整形外科分野を担当

<主な経歴>

昭和44年 熊本大学医学部卒業
昭和45年～48年 熊本市市民病院整形外科医員
昭和49年～53年 宮崎医科大学整形外科助手、講師
昭和54年～平成2年 熊本市市民病院整形外科部長
平成2年～4年 宮崎医科大学整形助教授
平成5年～ NTT 西日本病院整形外科部長、副院長
平成10年～ NTT 西日本病院院長
平成20年 NTT 西日本病院名誉院長

<専門分野>

関節外科 (リウマチ・変形性関節症)
整形外科的アドバイス、整形内科的診療を担当

■ 協力医のご紹介

松崎 志保 (Shiho Matsuzaki)

令和2年1月より

※毎月第1・3金曜において精神科分野を担当

<主な経歴>

平成17年 久留米大学医学部卒業
平成19年 熊本大学神経精神科入局
平成28年 筑水会病院
平成30年 よもぎクリニック

<専門分野>

老年精神医学

<資格等>

医学博士、精神保健指定医
日本精神神経学会精神科専門医・指導医
日本医師会認定産業医
認知症サポート医

地域連携室からのお知らせ

医療ソーシャルワーカーのしごと

特集 「受診・受療援助」について

医療ソーシャルワーカーの主な業務のひとつに、「受診・受療援助」があります。今回はそのご紹介をいたします。

受診・受療援助とは、患者さんやご家族に対して、適切な医療機関に受診や入院ができるように情報提供等の支援を行うことです。また、病気のことや治療内容に対する不安がある場合は、その悩みを解消できるよう相談や助言を行います。

例えば、入院や医療機関を受診する際に、医師から病気のことや現在の病状について説明がなされる場合があるとあります。説明が終わった後に医師からの説明に対して、不安や悩みなどを感じ、誰に聞いたらいいのか悩まれたことはありませんでしょうか？

悠紀会病院では、医師から患者さんやご家族へ説明がなされる場合、必要に応じて医療ソーシャルワーカーが同席することがあります。診察が終わった後に、説明された内容を理解できなかったか、不安を抱えていないかなど、患者さんの思いを確認しています。

当院では、このような相談に応じるために、医療スタッフと患者さん・ご家族との対話を促進できる相談窓口を設置しており、相談内容に適切に応じられるようにあらゆる専門職と連携しています。

以上のように私たち医療ソーシャルワーカーは、その方の生活と病気の状況に適切に対応した医療の受け方を多くの職種の方々と連携を図りながら、病院や診療所に情報提供を行っているのです。

以上のように私たち医療ソーシャルワーカーは、その方の生活と病気の状況に適切に対応した医療の受け方を多くの職種の方々と連携を図りながら、病院や診療所に情報提供を行っているのです。

以上のように私たち医療ソーシャルワーカーは、その方の生活と病気の状況に適切に対応した医療の受け方を多くの職種の方々と連携を図りながら、病院や診療所に情報提供を行っているのです。

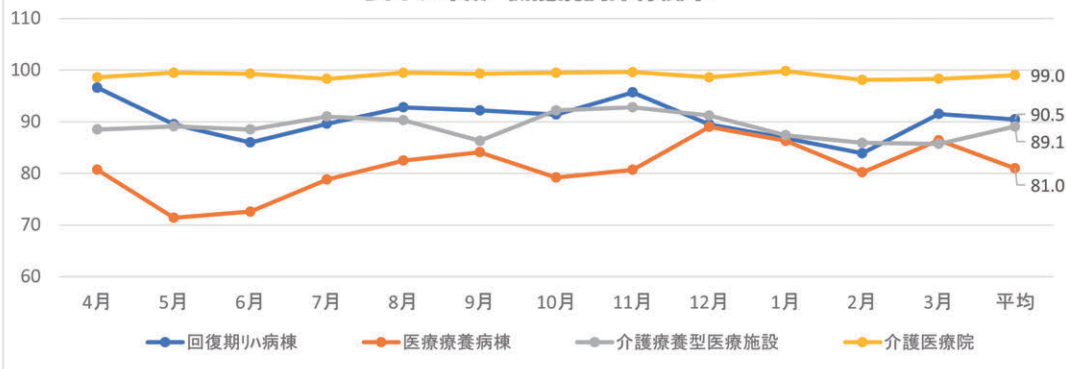
地域連携室

新スタッフ紹介



この度6月1日より地域連携室に配属になりました竹下恵美子です。その前は当院の介護療養型医療施設の介護支援専門員として従事していました。患者さんとの関わりが好きで、看護業務にも携わっていました。新しい部署で院内外の多くの方と関わる事が多く戸惑ってばかりですが、スタッフの暖かい指導を受けながら少しずつ業務を行っています。スムーズな入院の支援ができるように努めていきたいと思っていますので、ご指導の程よろしく願います。

2019年度 機能別病床稼働率



悠紀会病院
の情報

2018年度 (2018年4月1日～2019年3月31日)

回復期リハビリテーション病棟

| 平均在院日数 | 在宅復帰率 | 入院時重症者割合 | 重症者改善割合 | 実績指数 |
|--------|-------|----------|---------|-------|
| 85.7 | 77.3% | 40.3% | 85.0% | 33.58 |

医療療養病棟

| 平均在院日数 | 医療区分 I | 医療区分 2 | 医療区分 3 |
|--------|--------|--------|--------|
| 171.5 | 12.27% | 59.35% | 28.38% |

介護療養型医療施設

| 平均在院日数 | 重度者の割合 | 医療処置の状況 | ターミナルケアの実施 |
|--------|--------|---------|------------|
| 348.5 | 55.0% | 93.1% | 11.7% |

介護医療院

| 平均在院日数 | 重度者の割合 | 医療処置の状況 | ターミナルケアの実施 |
|--------|--------|---------|------------|
| 869.1 | 53.4% | 120.5% | 14.9% |

医療療養病棟のご紹介



当病棟は、急性期の治療を終えても引き続き入院加療を必要とする患者様が対象となります。患者様の医療の必要性とADL状態を毎日包括的に評価しながら医療とリハビリテーションを提供しています。

1 現在の医療区分(令和2年6月末時点)

| | 医療区分Ⅰ | 医療区分Ⅱ | 医療区分Ⅲ |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| | 11% | 62% | 27% |
| 医療区分表 | 医療区分Ⅲ 【疾患・状態】 ・スモン ・医師および看護師により、常時監視・管理を実施している状態 【医療処置】 ・24時間持続点滴 ・中心静脈栄養 ・人工呼吸器使用 ・ドレーン法 ・胸腹腔洗浄 ・発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管 ・感染隔離室における管理 ・酸素療法(常時流量3l/分以上を必要とする状態等) | | |
| | 医療区分Ⅱ 【疾患・状態】 ・筋ジストロフィー ・多発性硬化症 ・筋萎縮性側索硬化症 ・パーキンソン病関連疾患 ・その他の難病(スモンを除く) ・脊髄損傷(頸髄損傷) ・慢性閉塞性肺疾患(COPD) ・疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍 ・肺炎 ・尿路感染症 ・リハビリテーションが必要な疾患が発生してから30日以内 ・脱水かつ発熱を伴う状態 ・体内出血 ・頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 ・褥瘡 ・末梢循環障害による下肢末端開放創 ・せん妄 ・うつ状態 ・暴行が毎日みられる状態(原因・治療方針を医師を含め検討) 【医療処置】 ・透析 ・発熱又は嘔吐を伴う場合の経腸栄養 ・喀痰吸引(1日8回以上) ・気管切開 ・気管内挿管のケア ・頻回の血糖検査 ・創傷(皮膚潰瘍、手術創、創傷処置) | | |
| | 医療区分Ⅰ | 医療区分Ⅱ・Ⅲに該当しないもの | |

2 SAT-MESSAGEの活用

患者様の動脈血酸素飽和度(SpO₂)をPCとネットワークを利用して24時間モニタリングすることにより、早期に患者様の変化を把握して対応することができます。吸引のタイミングについては、時間によるルーティンではなく、必要とされる判断に基づいて行うことにより、患者様の苦痛が大きく軽減されると共に安心にもつながります。



3 当病棟のチーム活動

医療安全チームの活動



毎日の朝礼時にインシデント・アクシデント事例を通して改善策を検討し、再発防止に取り組んでいます。

褥瘡チームの活動



黄色のクッション
(腰に水色ビーズクッション
を入れた側)

反対側の足と隙間
ができるように間
にも入れる

波型クッション
二つ折りにして、
踵が付かないように

患者様にとって、「こちよい」安静が取れるよう、多職種が関わりポジショニング表を作成し共有しています。そして定期的に評価をおこない掲示の差し替えを行っています。

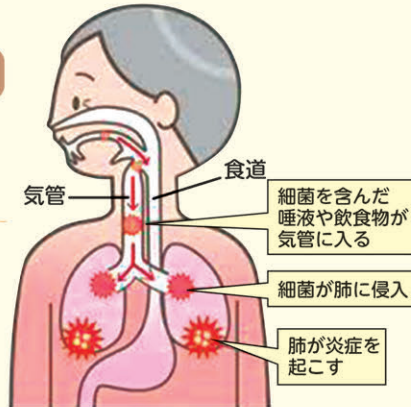
リハビリテーション科 外来での嚥下造影(VF)検査のご紹介

食事中にむせる、飲み込みに時間がかかるなどの嚥下障害が疑われる方に対して、外来での嚥下造影(VF)検査を実施しています。さらに検査結果から、必要な提案や助言をおこなうことで、ご自宅でおいしく安全にお食事ができるように支援しています。

誤嚥性肺炎について

誤嚥性肺炎とは…

食べ物や唾液などが誤って気道内に入ってしまうことで発症する肺炎のことです。



💡 このような症状はありませんか？

- むせ込むようになった
- 食事時間が長くなった
- 食事量が減った
- 発熱や痰が多くなった



嚥下(飲み込み)の検査について

嚥下造影検査(VF)とは…

レントゲン室でバリウムを混ぜた飲み物や食べ物を実際に食べていただき、X線を照射しながら検査します。



嚥下造影(VF)検査は、内容や手順、リスクなどの説明後に同意を得てから検査をおこないます。

検査のメリットについて

- 普段は見ることはできない食べ物の流れが確認できます。
- 誤嚥があった場合は、早急な対応ができます。

令和元年度の実績

院内の嚥下造影検査: 21件
外来の嚥下造影検査: 4件

検査結果について



💡 検査後の検討項目について

- 誤嚥はないか
- 食事の形態は合っているか
- 姿勢の調整が必要か
- 自宅でできるリハビリはないか など



外来嚥下造影(VF)検査の診療時間について

検査実施日: 毎週火曜日 午前9:15 ~ 午前10:00 (曜日・時間についてはご相談ください)

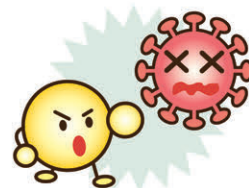
かかりつけ医の紹介状が必要なため、来院前に事前にご連絡ください

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。

TEL (0968)74-1131 FAX (0968)74-3821 担当: 峠

コロナウイルスの予防にも 栄養が大事！

世界保健機関(World Health Organization;WHO)から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する栄養面の予防戦略が公表されました。



WHO からの栄養アドバイス

！ 毎日、新鮮で加工されていない食品を食べる

果物、野菜、豆類、ナッツ類、全粒穀物、肉、魚、卵、牛乳などの動物性食品を摂取し、砂糖、脂肪、塩分の多いものは控える。

！ 毎日、十分な水を飲む

水は血液中の栄養素や成分を運搬し、体温調節や老廃物の除去にかかわります。甘味料で加工されたジュース、濃縮果汁、炭酸飲料などは控えてください。

！ 脂肪分は適量を摂取する

魚、ナッツ類、オリーブオイル、大豆油などの不飽和脂肪を選んでください。

！ 塩や砂糖を控える

塩分と砂糖が多い菓子類は避ける。間食をとるなら、新鮮な果物を選択する。

！ 外食を避ける

家で食事をするすることで、他人と接触する確率を抑えることができます。

熱中症予防で知っておきたい栄養素と食材

熱中症対策で 覚えておきたい 栄養素

- ナトリウムによって、体内水分量を適切な状態に調節しており、生命の維持に欠かせない役割を担っています。
- カリウムが対外に排出されてしまうと、筋肉の痙攣や内臓の機能障害といった症状が現れる可能性があります。
- マグネシウムは糖分をエネルギーに変換するサポートや、血圧の維持に関係するといわれています。
- ビタミンB1が不足すると、エネルギーに必要な糖質を分解できなくなり疲労物質が蓄積されてきます。そのため食欲不振や倦怠感の原因になることがあります。

ナトリウムが多く含まれる食品

塩や醤油、味噌など調味料を中心に手軽に摂取できます。

カリウムが多く含まれる食品

野菜類、海藻類、生果物、豆類、生果物類など

マグネシウムが多く含まれる食品

種実類、魚介類(干しエビ、かたくちいわし等)、アオサ、海苔など

ビタミンB1が多く含まれる食品

豚肉やレバー、ウナギ、海藻類、玄米や胚芽米など



・医療法人悠紀会からの情報・ご案内・

新入職員オリエンテーション

令和2年6月1日(月)

本来、新入職員オリエンテーションは3日間開催されますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して行われました。



(※ソーシャルディスタンスを確保して実施しました)



今回は看護師をはじめ、総勢14名の新入職員が参加しました。配属後も年間を通して悠紀会職員としての教育が行われます。

入院セット・紙おむつ 定額サービス導入

当院で安心して療養を受けて頂けるよう、4月より、患者様やご家族様のご負担軽減と院内感染防止を目的に新たなサービスを導入いたしました。当院にご入院の際は是非ご利用下さい。



『入院セット』とは?

入院の際に必要なタオル・衣類等を一定額でお貸しします。新しく購入される費用や洗濯物を持ち帰る等の負担が軽減できます。

『おむつセット』とは?

患者様の状態に応じたおむつをご利用いただけます。体調等により必要枚数が増えても金額は一定なので安心です(医療保険病棟のみ対象)。

とろみ自動調理サーバーを 導入しました!

患者様への最適なサービス提供と職員の負担軽減を両立するために導入しました。

(特徴)

- ボタンひとつでとろみ計量・調理を自動化
- とろみの濃さも簡単に調整できる
- 冷20℃前後～温45℃まで提供可能
- 1ℓ単位でとろみ茶が調理できる
- とろみのムラが無くなり、一定につくれる
- 薄いとろみ、中間とろみ、濃いとろみもボタンひとつで調整可能
- とろみ茶の作製中は違う業務ができ、業務改善につながる



外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科 | | 高木 和男 | 松村 利昭 | 高木 昭宏 | |
| リハビリテーション科 | 紫藤 忠博 | | 古森 顕一 | | 古森 顕一 |
| 循環器内科 | | 山崎 裕子 | | 紫藤 忠博 | |

診療科

●内科 ●リハビリテーション科 ●循環器内科 ●歯科(予約制)

相談、その他

● 外来・訪問リハビリテーション相談 ● 摂食嚥下相談

病棟構成

入院病床数 139床

| | |
|----------------|-----|
| 回復期リハビリテーション病棟 | 32床 |
| 医療療養病棟 | 50床 |
| 介護療養型医療施設 | 57床 |

診療設備

マルチスライスCT撮影装置
 X線テレビ装置
 一般用X線装置
 PACS(医用画像管理システム)
 超音波診断装置
 心電図モニター
 生化学自動分析装置

関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院
- ◆介護医療院 ゆうきの里
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里
 ゆうきの里 通所リハビリテーション
 介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援)
- ◆グループホーム ゆうきの家
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市)
- ◆社会福祉法人ゆうき会
 特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町)

アクセス



〒865-0011

熊本県玉名市上小田1063番地

TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821

ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携室へお尋ねください。

TEL 0968-74-1131

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。